



福井労働局発表
平成29年6月2日(金)

福井労働局職業安定部職業対策課
課長 吉村 勝行
課長補佐 谷口 敏樹
障害者雇用担当官 富田 道治
電話 0776-26-8613

ハローワークにおける障害者の就職件数は8年ぶりに減少 ＜平成28年度・障害者の職業紹介状況＞

平成28年度のハローワークにおける障害者の就職件数は、788件と平成20年度以来の減少となったが依然として高い数値で推移しており、就職率においても66.7%で全国4位となった。

- 新規求職申込件数は、1,181件で前年比5.4%減となり、5年連続で1,000件を超えた。(表-1参照)
- 新規求職申込件数のうち、身体障害者(373件:前年比10.1%減)及び精神障害者(535件:前年比5.6%減)は前年度より減少したものの、知的障害者(183件:前年比2.8%増)及びその他の障害者(90件:前年比2.3%増)が増加した。(表-2参照)
- 就職件数を多いものから順にみると、障害種別では、精神障害者、身体障害者、知的障害者、その他の障害者の順となっており、主な産業別では、医療・福祉、製造業、卸売業・小売業の順となっている。(表-3及び表-4参照)
- 主な職業別の就職件数は、生産・労務の職業、事務的職業、サービスの職業の順となっている。(表-5参照)知的障害者、精神障害者については、生産・労務の職業での就職が多くなっている。

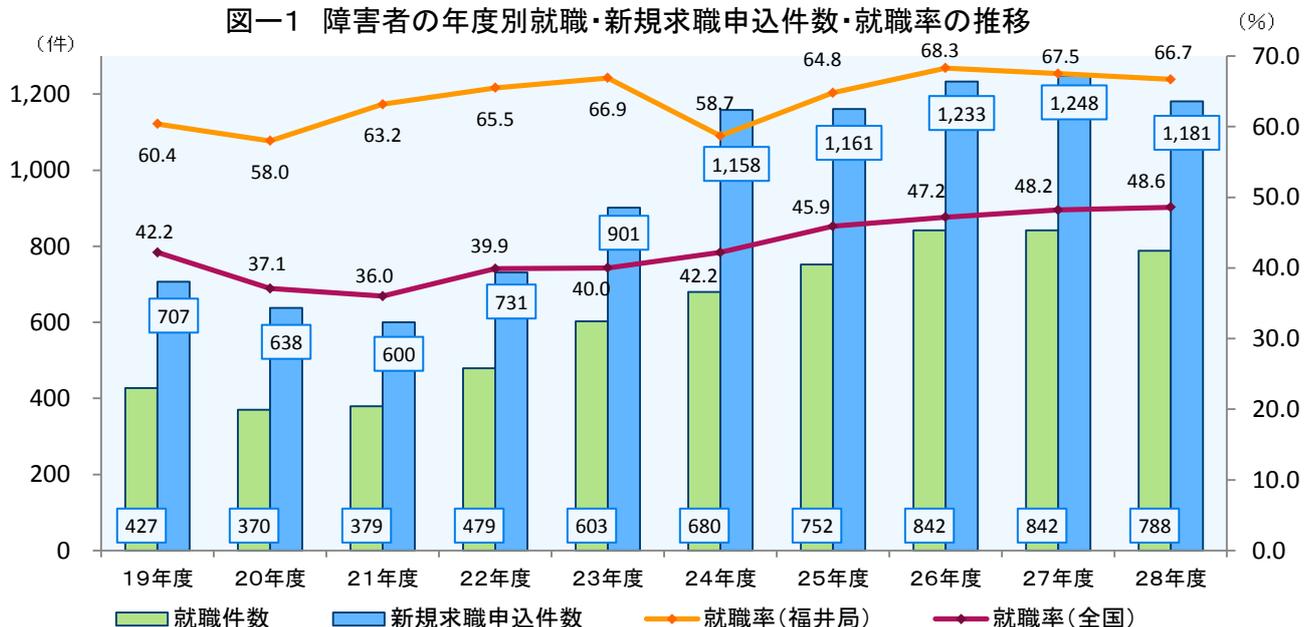
1 求職者・就職者・就職率の状況

(表-1)

	①新規求職申込件数		②有効求職者数		③就職件数		④就職率		全国の就職率
	前年度比		前年度比		前年度比		(③/①)	前年度差	
19年度	707	8.1	495	▲17.8	427	2.4	60.4	▲3.4	42.2
20年度	638	▲9.8	525	6.1	370	▲13.3	58.0	▲2.4	37.1
21年度	600	▲6.0	459	▲12.6	379	2.4	63.2	5.2	36.0
22年度	731	21.8	485	5.7	479	26.4	65.5	2.3	39.9
23年度	901	23.3	567	16.9	603	25.9	66.9	1.4	40.0
24年度	1,158	28.5	832	46.7	680	12.8	58.7	▲8.2	42.2
25年度	1,161	0.3	1,027	23.4	752	10.6	64.8	6.1	45.9
26年度	1,233	6.2	1,102	7.3	842	12.0	68.3	3.5	47.2
27年度	1,248	1.2	1,237	12.3	842	0.0	67.5	▲0.8	48.2
28年度	1,181	▲5.4	1,289	4.2	788	▲6.4	66.7	▲0.8	48.6

※新規求職申込件数及び就職件数は年度(期間)内の累計、有効求職者数は年度(期間)末時点の数値

図-1 障害者の年度別就職・新規求職申込件数・就職率の推移



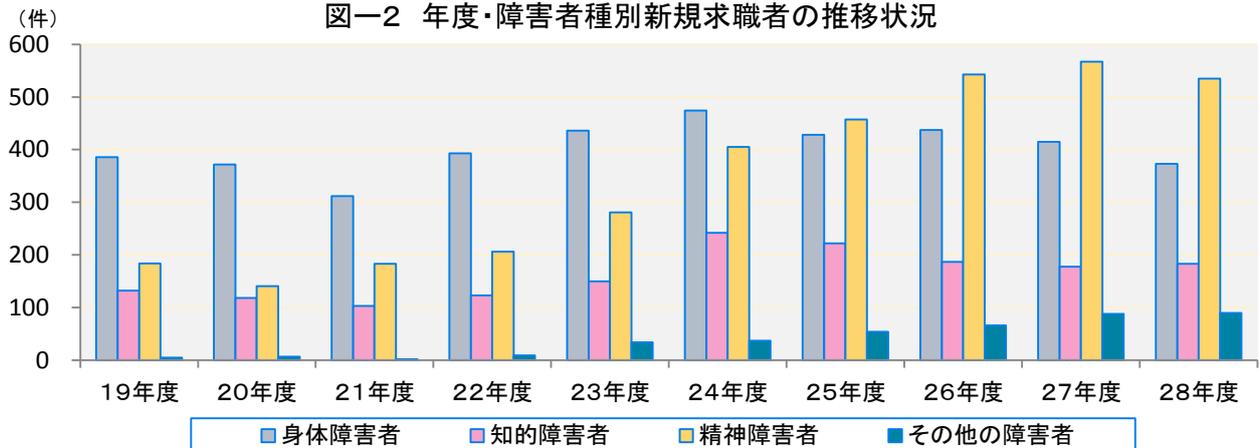
2 障害種別新規求職申込件数の状況

(表-2)

	新規求職申込件数		身体障害者		知的障害者		精神障害者		その他の障害者	
	件数	前年度比	件数	前年度比	件数	前年度比	件数	前年度比	件数	前年度比
19年度	707	8.1	386	▲ 4.9	132	13.8	184	40.5	5	400.0
20年度	638	▲ 9.8	372	▲ 3.6	118	▲ 10.6	141	▲ 23.4	7	40.0
21年度	600	▲ 6.0	312	▲ 16.1	103	▲ 12.7	183	29.8	2	▲ 71.4
22年度	731	21.8	393	26.0	123	19.4	206	12.6	9	350.0
23年度	901	23.3	436	10.9	150	22.0	281	36.4	34	277.8
24年度	1,158	28.5	474	8.7	242	61.3	405	44.1	37	8.8
25年度	1,161	0.3	428	▲ 9.7	222	▲ 8.3	457	12.8	54	45.9
26年度	1,233	6.2	437	2.1	187	▲ 15.8	543	18.8	66	22.2
27年度	1,248	1.2	415	▲ 5.0	178	▲ 4.8	567	4.4	88	33.3
28年度	1,181	▲ 5.4	373	▲ 10.1	183	2.8	535	▲ 5.6	90	2.3

※その他の障害者は、発達障害、難病患者、高次脳機能障害の者

図-2 年度・障害者種別新規求職者の推移状況

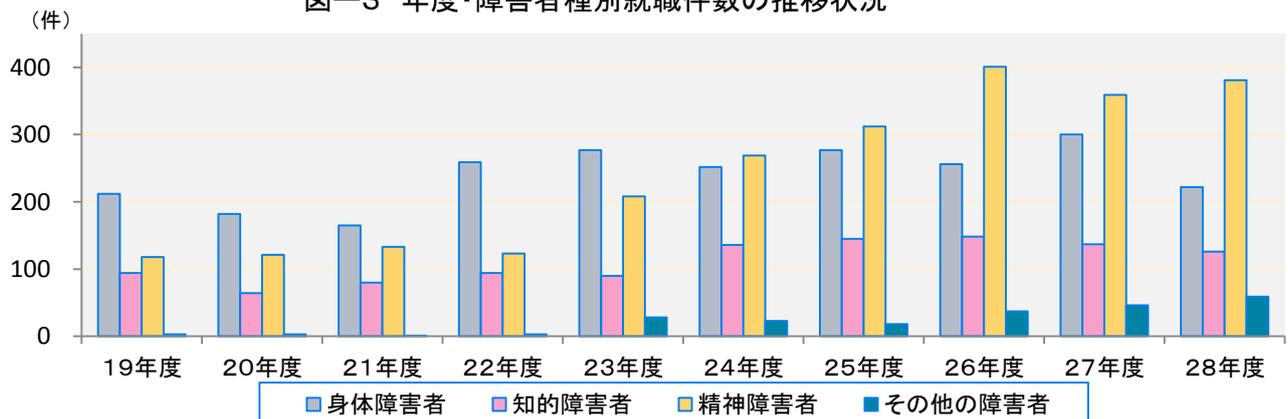


3 障害種別就職件数の状況

(表-3)

	就職件数		身体障害者		知的障害者		精神障害者		その他の障害者	
	件数	前年度比	件数	前年度比	件数	前年度比	件数	前年度比	件数	前年度比
19年度	427	2.4	212	▲ 11.7	94	▲ 10.5	118	63.9	3	
20年度	370	▲ 13.3	182	▲ 14.2	64	▲ 31.9	121	2.5	3	0.0
21年度	379	2.4	165	▲ 9.3	80	25.0	133	9.9	1	▲ 66.7
22年度	479	26.4	259	57.0	94	17.5	123	▲ 7.5	3	200.0
23年度	603	25.9	277	6.9	90	▲ 4.3	208	69.1	28	833.3
24年度	680	12.8	252	▲ 9.0	136	51.1	269	29.3	23	▲ 17.9
25年度	752	10.6	277	9.9	145	6.6	312	16.0	18	▲ 21.7
26年度	842	12.0	256	▲ 7.6	148	2.1	401	28.5	37	105.6
27年度	842	0.0	300	17.2	137	▲ 7.4	359	▲ 10.5	46	24.3
28年度	788	▲ 6.4	222	▲ 26.0	126	▲ 8.0	381	6.1	59	28.3

図-3 年度・障害者種別就職件数の推移状況

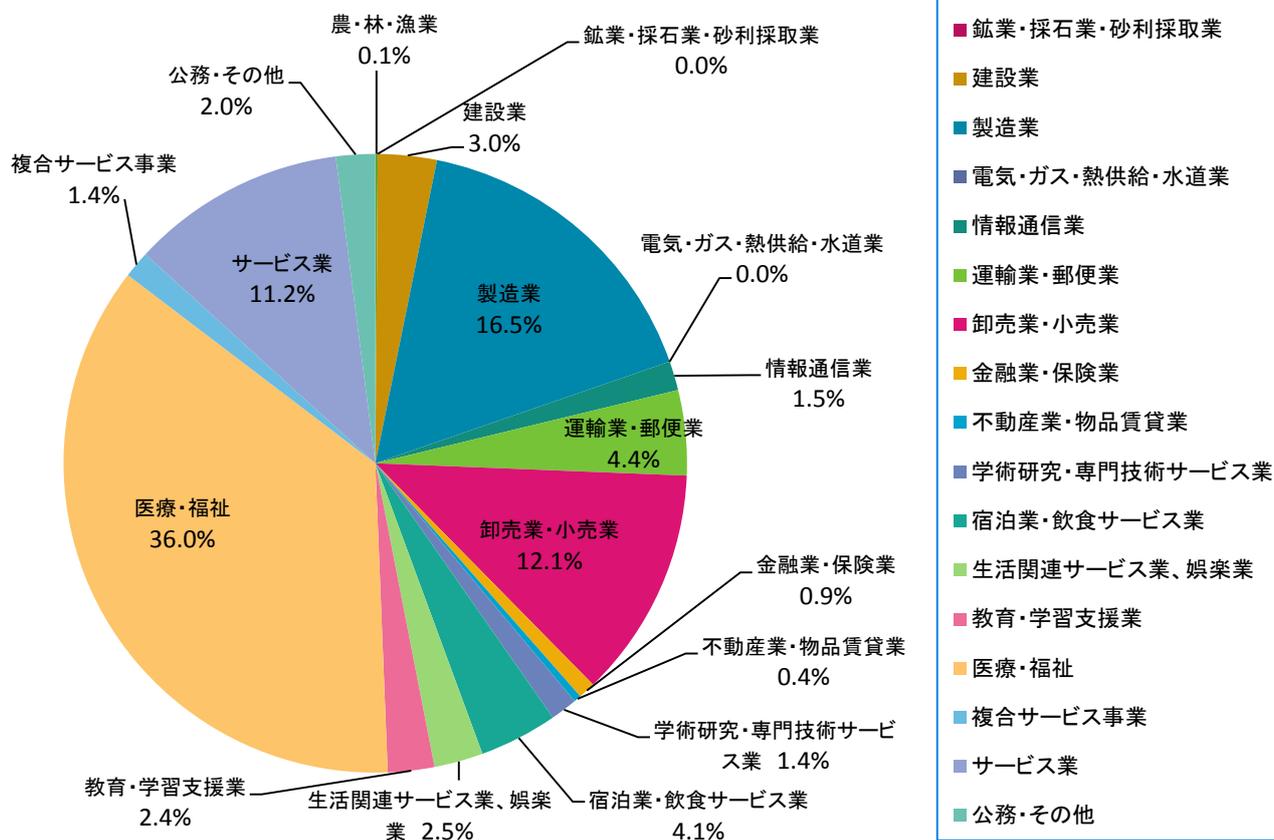


4 産業・障害種別就職件数の状況

(表-4)

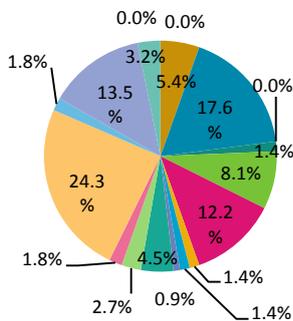
産業別	就職者数		身体 障害者	知的 障害者	精神 障害者	その他の 障害者
		構成比				
農・林・漁業	1	0.1	0	0	1	0
鉱業・採石業・砂利採取業	0	0.0	0	0	0	0
建設業	24	3.0	12	1	10	1
製造業	130	16.5	39	20	66	5
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0	0	0	0	0
情報通信業	12	1.5	3	0	9	0
運輸業・郵便業	35	4.4	18	6	8	3
卸売業・小売業	95	12.1	27	16	39	13
金融業・保険業	7	0.9	3	0	4	0
不動産業・物品賃貸業	3	0.4	3	0	0	0
学術研究・専門技術サービス業	11	1.4	2	2	5	2
宿泊業・飲食サービス業	32	4.1	10	6	13	3
生活関連サービス業、娯楽業	20	2.5	6	4	10	0
教育・学習支援業	19	2.4	4	4	10	1
医療・福祉	284	36.0	54	60	150	20
複合サービス事業	11	1.4	4	0	5	2
サービス業	88	11.2	30	7	44	7
公務・その他	16	2.0	7	0	7	2
合計	788	100.0	222	126	381	59

図-4 産業別就職状況

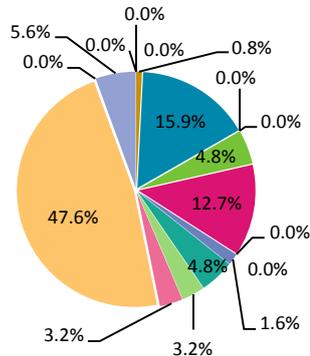




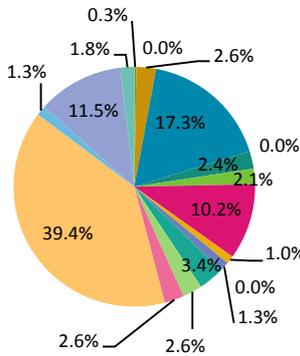
図一五 身体障害者



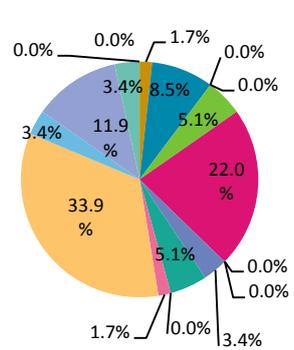
図一六 知的障害者



図一七 精神障害者



図一八 その他の障害者



【産業別にみた特徴】

- 産業別では、医療・福祉(36.0%)、製造業(16.5%)、卸売業・小売業(12.1%)の順で就職件数が多い。(図一四参照)
- 身体障害者は、医療・福祉(24.3%)、製造業(17.6%)、サービス業(13.5%)の順で就職件数が多い。(図一五参照)
- 知的障害者は、医療・福祉(47.6%)、製造業(15.9%)、卸売業・小売業(12.7%)の順で就職件数が多い。(図一六参照)
- 精神障害者は、医療・福祉(39.4%)、製造業(17.3%)に続き、サービス業(11.5%)の順で就職件数が多い。(図一七参照)
- その他の障害者は、医療・福祉(33.9%)、卸売業・小売業(22.0%)、サービス業(11.9%)の順で就職件数が多い。(図一八参照)

5 職業・障害種別就職件数の状況

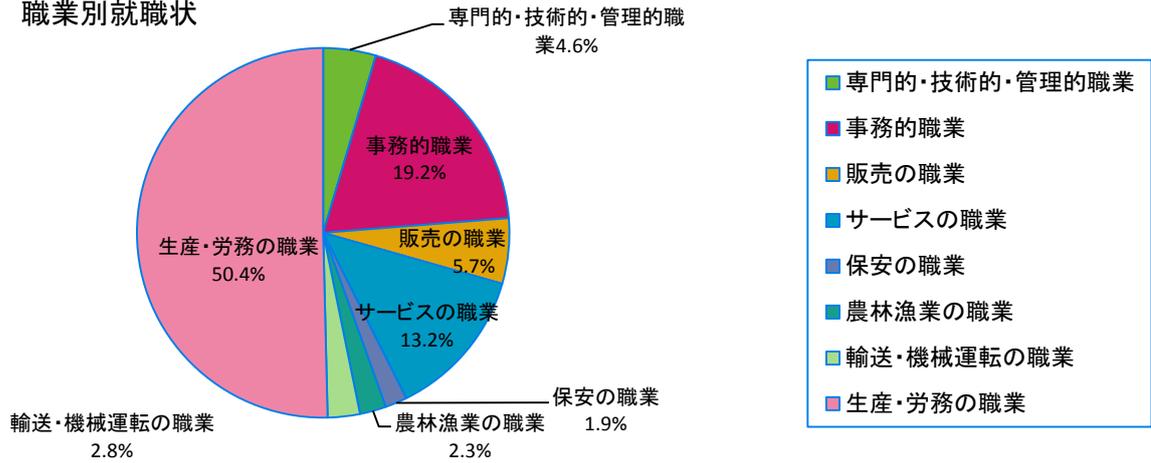
(表一五)

職業別	就職者数					
	構成比	身体障害者	知的障害者	精神障害者	その他の障害者	
専門的・技術的・管理的職業	36	4.6	19	1	14	2
事務的職業	151	19.2	53	13	72	13
販売の職業	45	5.7	17	7	17	4
サービスの職業	104	13.2	23	29	45	7
保安の職業	15	1.9	9	4	1	1
農林漁業の職業	18	2.3	2	4	11	1
輸送・機械運転の職業	22	2.8	13	1	7	1
生産・労務の職業	397	50.4	86	67	214	30
合計	788	100.0	222	126	381	59

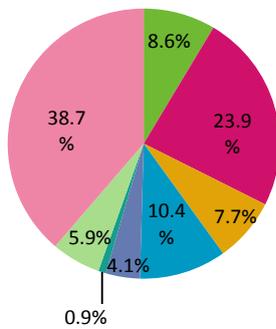
【職業別にみた特徴】

- 職業別では、生産・労務の職業(50.4%)が約5割を占めており、次いで事務的職業(19.2%)、サービスの職業(13.2%)の順で就職件数が多い。(図一八参照)
- 身体障害者は、生産・労務の職業(38.7%)、事務的職業(23.9%)、サービスの職業(10.4%)が多い。(図一五参照)
- 知的障害者は、生産・労務の職業(53.2%)が半数以上を占め、サービスの職業(23.0%)、事務的職業(10.3%)となっている。(図一六参照)
- 精神障害者は、生産・労務の職業(56.2%)が約6割近くを占めている。次いで事務的職業(18.9%)、サービスの職業(11.8%)、販売の職業(4.5%)が続いている。(図一七参照)
- その他の障害者は、生産・労務の職業(50.8%)、次いで事務的職業(22.0%)、サービスの職業(11.9%)の順で就職件数が多い。(図一八参照)

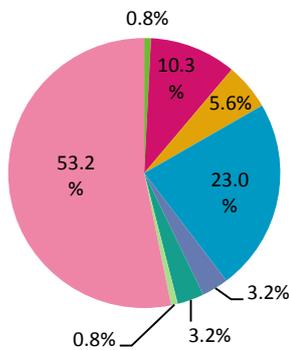
図一8 職業別就職状



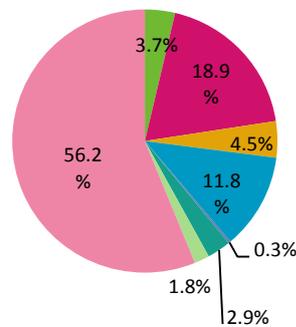
図一9 身体障害者



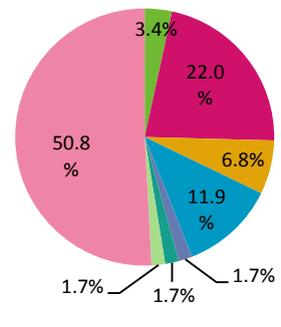
図一10 知的障害者



図一11 精神障害者



図一12 その他の障害者



6 解雇者数の推移

(表一6)

年度	解雇数			障害種別			
	年度計	上半期		身体障害者	知的障害者	精神障害者	その他の障害
		上半期	下半期				
平成19年度	12	5	7	10	2	0	0
平成20年度	24	7	17	19	4	1	0
平成21年度	15	5	10	13	1	1	0
平成22年度	16	7	9	13	2	1	0
平成23年度	10	5	5	8	2	0	0
平成24年度	37	27	10	17	17	3	0
平成25年度	11	9	2	7	3	1	0
平成26年度	18	10	8	15	3	0	0
平成27年度	10	7	3	1	8	1	0
平成28年度	2	1	1	0	0	2	0

7 理由別解雇者数

(表一7)

	事業廃止	事業縮小	その他	計
平成28年 4～6月	0	0	1	1
平成28年 7～9月	0	0	0	0
平成28年10～12月	0	0	0	0
平成29年 1～3月	0	0	1	1
年度計	0	0	2	2